

2023年11月29日

自民党不妊治療支援拡充議員連盟 様

不妊治療保険適用専門サイト FCH

## 診療報酬改定についての要望書

来年度以降の診療報酬改定について、財政制度等審議会は11月下旬に意見書を財務大臣に提出し、診療報酬はマイナス改定をすべきとの内容が盛り込まれた。

しかし、不妊治療に携わるクリニックは、不妊治療の保険適用以降、大都市圏を中心に収入が減ったクリニックも多く、そうした状況下において不妊治療の発展のために力を尽くしている。一昨年は、体外受精で生まれた子供が約1万人も一気に増えた。

岸田文雄内閣は「賃上げ」を掲げており、クリニックの光熱費や家賃の上昇、人件費の上昇とこれからの賃上げを考えれば、診療報酬のプラス改定は必須である。

私共は不妊治療の保険適用を推進するサイトとして、患者・当事者、クリニックの方々からの聞き取りを踏まえ、診療報酬の大幅なプラス改定をここに要望する。

以上